

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	西巣鴨・学びの保育園
活動日時	令和6年10月23日(水)
クラス名(年齢)	ひまわり組(3, 4, 5歳児)
年間テーマ	自然、生き物

1. 活動テーマ

<テーマ>

身近な自然、生き物

<テーマ設定理由(子どもの姿)>

数日前に捕まえた、チョウを図鑑などで調べていくうちにチョウは飼育が難しいことがわかり、逃がすことに。 その後、虫に関心を持つ児が増え、公園では積極的に虫や自然の観察をする姿が増えてきた。
--

2. 活動スケジュール

・捕まえたチョウを逃がす ・虫取りに必要な用具を用意し、子ども達と相談して虫がいそうな公園に散歩に出掛ける。

3. 環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)

虫取り用具(虫取り網、虫かご) 虫メガネ 昆虫図鑑

4. 探求活動の実践

<活動内容>

・公園で虫を探し、捕まえる。 ・虫の生態や飼育方法について関心を持ち、図鑑で調べる。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの声・姿	写真
公園で捕まえたチョウと別れる。 「さようなら～」「長生きしてくれてありがとう～」と、子どもたちから自然と優しい言葉がでる。 その後、公園に出掛けると積極的に虫メガネを使って虫を探したり、公園内の草木を観察するようになった。 後日、散歩に出かけるとダンゴムシやアオムシ、木の上に見たことのない虫を見つけ、観察する。 以前は捕まえて園に連れて帰りたいという声もあったが、「逃がしてあげよう」「捕まえたらかわいそう」など飼育が難しいことを理解する姿や、生き物に対して優しい気持ちを表す姿も多く見られるようになった。	    

5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

・虫を探したり、捕まえたりするだけでなく「なんて名前の虫かな?」「なにを食べるんだろう?」と疑問に思う姿がより多く見られるようになってきたと感じる。 ・保育者と一緒に虫について調べるだけでなく、年長児は自分たちで図鑑を見てより関心を深めている姿が見られた。
